

企画書			
作成日:	2024年 4月 11日	作成者:	高野 穂波

下記の案件につきまして、企画・提案いたします。

記

1. ポートフォリオ名

ファーストチャット（高齢者のスマートフォン使用促進アプリ）

2. アプリケーション概要

スマートフォンに対して苦手意識を持っている高齢者に向け、スマートフォン使用の入り口となってもらえることを目指す。メッセージ機能や体調通知といったシンプルな機能に絞り、スマートフォンは意外と難しい、便利だということを伝え、日常的にスマートフォンに触れるタイミングを増やすことを目的としている。

3. 提案の理由・背景

現在、少子高齢化は進み続け、65歳以上の高齢者がいる世帯は全世帯の約半数を占め、さらにその中で高齢者のみの世帯(独居含む)は約6割を占める状況となっている。そんな中、社会のデジタル化も進んでおり、日常生活においても例外ではなくなっている。いわゆる“携帯電話”もスマートフォンへと移行していった状況である。それに伴い、高齢者のスマートフォン保持率や使用頻度も増加傾向にあるが、まだまだ苦手意識が強く、スマートフォンを“持っているだけ”といった人も多い。今後、スマートフォンを“持っているだけ”の高齢者にとっても、スマートフォンは簡単で便利だという認識が変われば、高齢者の生活自立やコミュニティへの参加促進、家族などの介護者側の負担も軽減していけると考え、この案を提案した。

4. アプリケーション一覧(機能一覧)

1. ユーザー登録・ログイン・ログアウト
2. ホーム画面（日付と時間・新着メッセージ・体調選択ボタンの表示）
3. フレンド登録機能（同じアプリ使用者をフレンドとして登録する、ニックネームの登録）
4. 体調報告機能（体調報告通知者の登録、ホーム画面の体調ボタンをタップし通知先に設定されているフレンドを対象に現在の体調情報をアプリ内で通知）
5. メッセージ機能（スタンプチャット:フレンド登録した相手と、スタンプや単語付きスタンプのみでの送受信）

以上